



健康生きいき御船町

①いつでも・どこでも・だれでも・いつまでもスポーツに親しむことができる御船町②いつまでもきらめきを大切にする御船町③子どもたちが健康でくすくす育つ御船町④高齢者がいつまでも健康な生活を送れる御船町⑤父母子ともに健康な生活が送れる御船町



地域のことは地域で決める御船町

①自分たちのルールは自分たちで決める御船町②自分たちのまちは自分たちでつくる御船町③自分たちの町のサービスは自分たちも担える御船町④町職員も地域住民の一員として地域創りのサポートをする御船町⑤自分たちの特異を地域づくりに活かせる御船町



地域ブランドの確立と地域ビジネスで経済的に豊かになる御船町

①光を活用することで地域経済に光を点す御船町②自分たちが誇れるものをブランド化できる御船町③交流したい・移住したい人が増える御船町④地域資源の活用や地域課題の解決をビジネス化できる御船町⑤地球に優しい環境ビジネスを応援する御船町

MANIFESTO



みんなで育む、笑顔と自然が響きあうロハス（健康と環境）なまち御船町

①みんなで育むロハス（健康・環境）のまち御船町②知らせようよか農業のまち御船町③豊かな里山がある御船町④遊休農地が生き返る御船町⑤みんなで守ろう美しい風景がある御船町



我がまちの子どもたちをみんなで育む御船町

①みんなで関わり・支えあう学校教育のまち御船町②みんなで教育課題を共有し解決する御船町③特色ある学校づくりを進める御船町④みんなで支えよう学園のまち御船町⑤みんなでつくる町民のための図書館がある御船町



挑戦する御船町役場

①自ら改善する御船町役場②他流試合をする御船町役場③節減する御船町役場④可能な限り民間へ任そう御船町役場⑤インターネットからも町民が意見を言える御船町役場



Top Interview

新しい約束は「共創」

私が1期目に目指した御船町は、「人と人のつながり」を重視して、具現化するマニフェスト（約束）でした。

そして2期目に目指すものは、共に創る「共創」を基本理念としたマニフェストです。まちの未来をつくっていくためには、町民、行政、議会の三者が、それぞれの役割を担いながら、協力や連携していく力が必要です。

2期目のマニフェストは、▽1期目で町民との意見交換したなかでの重要事項▽検証で指摘されたこと▽1期目にできなかったこと―を踏まえて、「5つの宣言」と「25の重点プロジェクト」±挑戦する御船町役場」としてまとめました。

人と人のつながりから次のステップ「共創」へ

これから始まる4年間の新たなまちづくりに、かじ取り役を任された山本町政。人と人のつながりから、次のステップは「共創」。その真意を聞いてみました。



第5代御船町長 山本 孝二

●プロフィール
やまもと こうじ。
昭和33年御船町生まれ。佐賀大農学部卒。昭和57年御船町役場に入庁。農政課、都市計画課、熊本県総務部出向、総務課行政係長、議会議務局長を経て、平成19年4月から御船町長に就任。木倉地区在住。53歳

5つの宣言、そして挑戦

今後4年間で、新たに取り組む「5つの宣言」は、▽健康生きいき御船町▽地域のは地域で決める御船町▽地域ブランドの確立と地域ビジネスで経済的に豊かになる御船町▽みんなで育む、笑顔と自然が響きあうロハス（健康と環境）なまち御船町▽我がまちの子どもたちをみんなで育む御船町―が柱です。

宣言1「健康生きいき御船町」。住民の健康こそまちの財産です。精神的健康（生涯教育）、身体的健康（体力増進）、社会的健康（地域活動）の3つをスローガンに掲げて、いつまでも自分らしく輝くために、「日本一の健康長寿の町」を目指します。

宣言2「地域のことは地域で決める御船町」。地方分権改革は、国の権限や財源を地方に移し、地方が自らの「選択と責任」で地域づくりを進めるものです。本町では地方分権と同様に、町が持つ「権限と財源」を、町民により身近な地域社会に移すことで、町民が自主的にまちづくりを行うことが可能になります。地域の事情に応じて、意見や知恵を出し合い、地域住民のニーズや地域課題に、的確に 대응することができます。「自分たちのまちは自分たちでつくる」を基本理念に、地域づくりを図ります。

宣言3「地域ブランドの確立と地域ビジネスで経済的に豊かになる御船町」。地域ブランドは、自然、歴史、文化などと連鎖させ、製品・商品、サービス開発や高付加価値化に地域全体で取り組みます。地域ブランドの確立と地域ビジネスの推進を組み合わせることで、地域経済の活性化と共に雇用促進を図ります。

宣言4「みんなで育む、笑顔と自然が響きあうロハス（健康と環境）なまち御船町」。

健康と環境を保ちながら、持続可能な社会生活を心がけるライフスタイルです。豊かな水と緑に恵まれた、御船町に合ったライフスタイルの追及を目指します。

宣言5「我がまちの子どもたちをみんなで育む御船町」。まちづくりは、人づくりといわれていますが、人づくり、学校づくり、地域づくりは一体です。学校、家庭、地域が子どもたちを中心に、課題や願いを共有して、共働しながら解決に取り組む必要があります。地域の子どもたちは、地域の財産です。地域の子どもたちは地域で育てる、を合言葉に、学校、家庭、地域との連携強化、開かれた学校づくりを推進します。

そして、「挑戦する御船町役場」。地域の社会経済状況が厳しいなか、町職員は、持続可能な自治体運営を目指し、果敢に「挑戦」する姿勢を持たなければいけません。これまでの、横並び主義、前例主義、先送り主義から脱却して、できるための方法や良い方法を考え、行動できる職員を育成したいと考えます。